＜エビデンス＞

A_0値の規格

洗浄・消毒装置の工程の保持時間と洗浄温度を組み合わせる事により熱水消毒が可能となる。

保持時間：分	保持時間：秒	保持温度：℃	A_0値
1分	６０秒	80℃	60
100分	6,000秒	70℃	600
10分	600秒	80℃	600
１分	60秒	90℃	600
５０分	3,000秒	80℃	3,000
５分	300秒	90℃	3,000

←基準

ニコジェットスチーマーは

←基準の１０倍の除菌力を発揮

WFHSS（World Forum for Hospital Sterile Service）では、B型肝炎ウイルスなど耐熱性の病原体にA_0値 3,000が推奨され、国際規格（ISO）でも手術用器具にはA_0値 3,000以上を要求しており、世界的な基準になっています。ちなみに、世界で最も厳格なのは医療大国ドイツで、自国の基準をA_0値 12,000に定めています。

国際規格（ISO）で規格の明細を見てみると

規格	ISO15883-2	ISO15883-6	ISO15883-3
A_0値条件	A_0値＝3,000以上	A_0値＝600以上	A_0値＝60
一般対象器具	手術用具・麻酔用具等	容器・非侵襲的用具等	便器・容器等

以下の表がA_0値概念とスポルディングの法則・消毒レベルを相関させる表と言えるかと思いますが、高水準消毒と中水準消毒のA_0値分類に関しては、消毒レベルとの相関で表しにくい部分もあり ISO の規格で運営するのがベストと言えるのと医療器具の消毒・滅菌処理を行う前には、あらかじめ十分な洗浄を行うことが重要です。その後、スポルディングの分類に従って最終処理方法を決定します。

また、変性・固着したタンパク質は洗浄しにくく洗浄を実施しても残留しやすいため、その後の消毒・滅菌不良の原因となりますのでご注意ください。

そして洗浄できない医療器具（電気メスのホルダー・ポーンソー・ドリルなど）の消毒・滅菌に関しては、生理食塩水または消毒用エタノールをしみ込ませたガーゼなどにより清拭した後、酸化エチレンガス滅菌もしくは過酸化水素ガスプラズマ滅菌を行う事をお勧めいたします。

以上のA_0値概念とスポルディングの法則・消毒レベルを相関させると

スポルディングの法則	消毒レベル	A_0値	一般対象器具等
クリティカル	滅菌	—	手術器具 注射器・穿刺などの器具
セミクリティカル	高水準消毒	600以上	人工呼吸器
			麻酔器回路
			軟性内視鏡
			膀胱鏡
	中水準消毒		咽頭鏡ブレード
			バイトブロック
			ネブライザー
			哺乳瓶
			乳首
ノンクリティカル	低水準消毒	60以上	血圧計
			酸素マスク
			膿盆
			ガーグルベースン
			吸引瓶
			薬杯
			便器・尿器